

旭小学校 「動き出そう！守ろう旭校区！わたしたちの力で！：5年総合的な学習」

南海トラフ地震が起こるであろうといわれる中、5年生は、総合的な学習の時間を使い、地震に対して地域のためにどのような取り組みをしたらよいかを考え、そして自分たちでできることを地域に伝える取り組みを行いました

まず、地震が起きた時にどんな行動をとればよいのかを調べ、その後、校区の消防団の方に話を聞きました。また、市民館にある備蓄倉庫を見学して、備蓄量の少なさに驚いたり、「一人暮らしや体の不自由な人は、避難するのが難しい」との話を校区に住むお年寄りに聞いたりすることで、地震が実際に起こった場合の大変さを痛感しました。多くの方に話を直接聞くことで、子どもたちは校区のために自分ができることは何かを考えるようになりました。11月の「学芸会」では、「自分の命は自分で守る」「地域とのつながりを大切にすること」が多くの命が助かる秘訣であることを、地域の人に発信しました。

